

1億5千万円を積み立て

令和5年度に一般会計に入ってきたお金（歳入）と、使ったお金（歳出）との差し引きは、5億7796万円です。令和5年度に予定していた大竹駅周辺整備事業などを翌年度に行うことになり、その事業に必要な財源3億2407万円を差し引いた2億5389万円が令和5年度に残ったお金です。このうち、1億5000万円を財政調整基金に積み立てました。

借入金残高9億円減少

大竹駅周辺整備事業などの大規模事業を行うための財源として、市債（借入金）を発行しています。借入金残高は、一般会計や土地造成特別会計で減少するなど、一般会計の借入金残高は、359億円から350億円に減少しています。

【用語解説】

財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための貯蓄。財源が不足した年度は取り崩し、黒字決算の場合は、剰余金の半分以上を積み立てます。



福沢諭吉像
(大分県中津市)

一般会計

歳入 173.8億円
歳出 168.0億円

問い合わせ
企画財政課 ☎59-2121



伊沢栄一像
(埼玉県深谷市)

令和5年度
決算公表

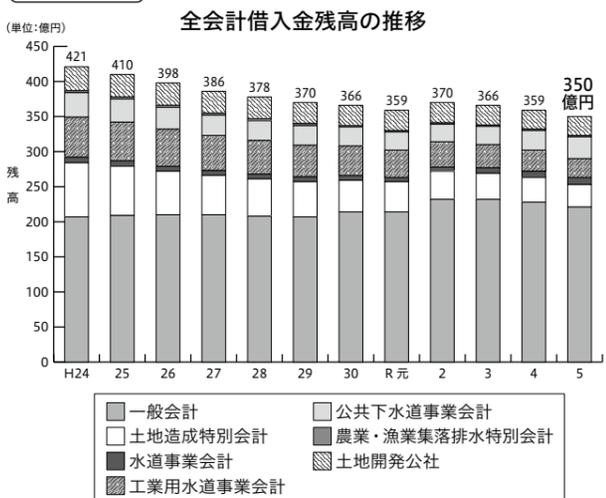
決算は、私たちが納めた税金や国・県からの補助金などのお金の使い方をまとめたものです。市議会に提案した各会計の決算額は、表のとおりです。

表1

歳出		歳入	
内 訳	決算額	内 訳	決算額
民生費 生活保護や児童・高齢者などの経費	48億8,053万円 (43億7,502万円)	市税 市民税や固定資産税など	52億3,859万円 (52億3,351万円)
総務費 市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	33億1,478万円 (31億1,229万円)	国庫支出金 特定の目的のために国から交付されたお金	28億9,520万円 (32億7,645万円)
土木費 道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	26億1,545万円 (34億3,270万円)	地方交付税 市の財政力などに応じて国から交付されたお金	23億3,686万円 (21億6,622万円)
公債費 過去の借入金の返済金	17億6,524万円 (18億4,741万円)	諸収入 他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	14億2,671万円 (10億6,953万円)
教育費 小・中学校の運営や社会教育などの経費	16億9,626万円 (13億395万円)	財産収入・寄付金 土地売却収入、寄付金など	10億1,547万円 (6億2,383万円)
衛生費 衛生的な生活環境を守るための経費	9億9,322万円 (10億9,187万円)	市債 大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金	9億2,382万円 (14億2,353万円)
消防費 消防・救急業務や災害対策の経費	5億6,824万円 (4億7,843万円)	その他国や県からの交付金 消費税のうち一定割合で交付された地方消費税交付金など	8億2,820万円 (8億3,176万円)
農林水産業費 農林業や水産業の振興などの経費	3億2,645万円 (2億605万円)	県支出金 特定の目的のために県から交付されたお金	8億1,659万円 (7億7,011万円)
商工費 商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億6,298万円 (4億5,584万円)	繰入金 基金繰入金など	7億3,024万円 (4億1,869万円)
議会費 議会の活動にかかる経費	1億7,169万円 (1億7,001万円)	繰越金 前年度から持ち越したお金	6億8,474万円 (11億1,964万円)
労働費 労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,005万円 (1億2,000万円)	使用料および手数料 市営住宅使用料、ごみ・し尿処理手数料、各施設の使用料など	2億8,907万円 (2億7,157万円)
災害復旧費 災害復旧にかかる経費	8,976万円 (8,124万円)	分担金および負担金 保育料、介護老人ホーム入所者負担金など	1億1,807万円 (1億2,628万円)
総 額	168億465万円 (166億7,481万円)	地方譲与税 国が徴収した税の一部を一定割合で譲与されたお金	7,905万円 (7,843万円)
形式収支(歳入決算額-歳出決算額)	5億7,796万円	総 額	173億8,261万円 (174億955万円)
令和6年度へ繰り越した財源	3億2,407万円		
実質収支 (形式収支-令和6年度へ繰り越した財源)	2億5,389万円		

※()内は前年度決算額

グラフ1



※土地開発公社の岩国大竹道路関連特別会計は除きます。

表2 令和5年度会計別決算額

会 計	歳 入	歳 出	差 引 額	
一般会計 福祉や教育、道路整備など市の運営の中心となる会計	173億8,261万円	168億465万円	5億7,796万円	
特別会計 特定の事業について特定の歳入をもって行う会計	国民健康保険	30億4,173万円	30億3,599万円	574万円
	漁業集落排水	6,342万円	5,916万円	426万円
	農業集落排水	4,138万円	4,097万円	41万円
	港湾施設管理受託	8,052万円	5,406万円	2,646万円
	土地造成	2億1,039万円	9億2,333万円	△7億1,294万円
	介護保険	27億7,845万円	27億6,209万円	1,636万円
	後期高齢者医療	5億3,244万円	5億3,002万円	242万円

健全化判断比率による現状

自治体の財政状況を判断する「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標は、全て「健全」でした。()内は昨年度の数値です。

「実質赤字比率」

早期健全化基準 13・79%
財政再生基準 20%
単年度の収支における、一般会計の歳出超過の割合を示します。
赤字はありません。

表3 令和6年度上半期の財政状況 (繰越分を含みます)

令和6年度上半期(4月~9月)の、一般会計・特別会計の予算執行状況(9月30日現在)は、表のとおりです。

会 計	予算現額		
	歳入状況	歳出執行状況	
一般会計	190億2,670万円 41.9%	30.7%	
特別会計	国民健康保険	33億4,571万円 34.0%	33.0%
	港湾施設管理受託	8,191万円 62.9%	33.7%
	土地造成	15億1,346万円 0.9%	56.1%
	介護保険	29億4,713万円 39.1%	38.0%
	後期高齢者医療	6億1,324万円 30.7%	41.3%

「連結実質赤字比率」
早期健全化基準 18・79%
財政再生基準 30%
単年度の収支における一般会計と公営事業会計を含めた会計全体の歳出超過の割合を示します。
赤字はありません。

「実質公債費比率」
13・0%(13・5%)
早期健全化基準 25%
財政再生基準 35%
標準的な税収などに対する借入金の返済などの割合を3年度の平均値で示します。
前年度と比べると、普通交付税の増加などにより改善しました。

「将来負担比率」
91・4%(123・1%)
早期健全化基準 350%
財政再生基準 設定なし
標準的な税収などに対する、普通会計と公営事業会計に第3セクター等の純負債を加えた負債がどの程度あるかを示します。
前年度と比べると普通交付税の増加や基金の増加などにより改善しました。
令和6年度上半期(4月~9月)の、一般会計・特別会計の予算執行状況(9月30日現在)は、表のとおりです。

(4) 安全・安心

事業名	事業概要	事業費
水槽付き消防ポンプ自動車整備事業	消防力を強化させ市民の安心安全を守るため、防衛省の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用して、水槽付き消防ポンプ自動車を整備しました。	8,085万円
急傾斜地崩壊対策事業	市内の急傾斜地崩壊危険箇所について、宅地背面の崖面崩壊を防ぐための擁壁設置などの斜面崩壊防止対策工事および測量設計を実施しました。	3,653万円

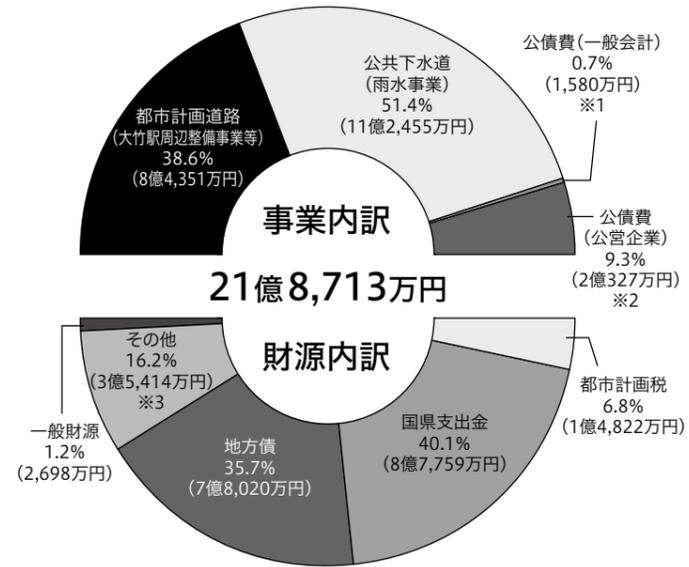
(5) 健康・福祉

事業名	事業概要	事業費
こども医療費助成事業	こどもの健やかな成長を支えるため、こどもの医療費に係る自己負担分の一部を助成しました。県の補助制度に準じて未就学児の入院・通院に対して助成を行うとともに、市独自の制度として、県の補助制度対象外である、保護者の所得が基準を超える未就学児や、令和5年9月末までは就学児から中学校卒業までのこどもだった対象者を、10月1日からは満18歳に到達した日以降の最初の3月31日までのこどもに拡充し、入院・通院に対しても助成を行っています。	6,913万円
地域福祉担い手育成事業	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉を推進するための事業を実施しました。令和5年度は、10月に社会福祉法人大竹市社会福祉協議会、医療法人社団知仁会、市の三者で包括連携協定を締結し、どこに行ってもいいかわからないときに行く相談窓口「まるっと大竹」を開設しました。	2,321万円

(6) 自治・行政運営

事業名	事業概要	事業費
地域活動促進事業	住みよい地域社会づくりのため、自治会の運営および活動拠点である地区集会所の改修等の支援、単位自治会等の運営を支援するための補助金の交付や、自治会を通じて市民に広報などの配布を行いました。また、地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組むコミュニティづくり推進協議会やコイ・こいフェスティバルや、宝くじの社会貢献広報事業（一般コミュニティ助成事業）を活用し、コミュニティ推進団体が行う備品の整備に対して補助しました。	2,122万円
証明書コンビニ交付事業	市民サービスの向上のため、令和4年3月からマイナンバーカードを使ってコンビニエンスストアで住民票の写しなどの証明書が取得できるようになりました。	720万円

グラフ3 都市計画事業の内容



都市計画税は、都市計画事業を行うための目的税です。令和5年度の都市計画事業費21億8713万円のうち、1億4822万円を都市計画税でまかしました。



都市計画税のつかいみち

都市計画税は、大竹駅周辺整備事業、雨水事業等の事業費や公債費に使われています。
 ※1 公債費（一般会計）とは、過去に一般会計において実施してきた都市計画事業（都市計画道路事業）のために発行した地方債の元利償還金です。
 ※2 公債費（公営企業）とは、過去に公営企業会計において実施してきた都市計画事業（公共下水道事業）のために発行した地方債（企業債）の元利償還金です。
 ※3 その他には、下水道使用料などが含まれます。

水道事業、公共下水道事業、および工業用水道事業は、地方公営企業としてそれぞれが独立採算で経営されています。令和5年度の収益的収支では、水道事業会計で約1億000万円の黒字となり、公共下水道事業会計で約1億2000万円の黒字となり、人口の減少などの影響

水道事業・公共下水道事業・工業用水道事業
令和5年度 決算

—収支は横ばい。より一層の経営健全化に努めます—

問い合わせ 上下水道局業務課 ☎59-2193

損益計算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位:円)

収 益	水道事業	公共下水道事業	工業用水道事業
料 金 収 入	413,452,880	444,517,054	465,635,173
その他営業収益	12,118,306	251,790,147	126,000
営 業 外 収 益	82,537,842	290,114,828	36,470,189
そ の 他	2,120,153	1,179,914	4,280,954
収 益 合 計	510,229,181	987,601,943	506,512,316
費 用	水道事業	公共下水道事業	工業用水道事業
人 件 費	49,300,324	24,223,142	20,639,907
物 件 費	192,743,806	363,871,158	118,361,484
動 力 費	3,516,518	151,276	499,907
受 水 費	87,881,250	0	0
支 払 利 息	9,345,756	27,981,108	19,745,087
減 価 償 却 費	165,010,005	435,750,482	232,992,155
そ の 他	1,092,193	16,894,665	0
費 用 合 計	508,889,852	868,871,831	392,238,540
純 利 益	1,339,329	118,730,112	114,273,776

※消費税・地方消費税抜き

により収入が減少傾向にある一方で、老朽化した設備・管路の更新を進める必要があり、年々経営状況は厳しさを増しています。工業用水道事業会計の収益的収支では、約1億1000万円の黒字となりましたが、企業債の償還が大きなたが、令和5年度は、3事業会計とも黒字を維持しています。が、物価高騰や電気料金の値上げなどに伴い、経費は増大傾向にあります。より一層の

決算審査意見書【公営企業会計】



市ホームページ(ホームページ「組織から探す」)→監査事務局「監査事務局」→業務案内「監査」→監査の結果等、またはQRコードから検索してください。

決算の概要



市ホームページ(ホームページ「組織から探す」)→上下水道「上下水道局」→上下水道事業のご紹介、またはQRコードから検索してください。

経営健全化が求められます。水道事業・工業用水道事業・公共下水道事業会計の令和5年度決算書などを市ホームページで公開しています。

決算書を販売しています
 問い合わせ
 企画財政課 ☎592121
 令和5年度の決算書(A4版308ページ)を1500円で販売しています。
 また、市立図書館や情報公開コーナー(市役所2階)、市のホームページでもご覧いただけます。



令和5年度に実施した主な事業
 内部経費の削減に努めながら、第1期大竹市まちづくり基本計画の個別施策として掲げる重点施策を中心とした事業に取り組みました。

表4 事業実施の状況

(1) 教育・文化

事業名	事業概要	事業費
大竹小学校プール建設事業	老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備しました。	3億5,446万円
玖波地域交流施設整備事業	築50年を経過する玖波公民館を、コミュニティサロン玖波の機能を統合した地域交流施設として新たに整備するため、施設利用者や地域住民の意見を聴きながら、コンセプトや規模、必要な機能などを定めた基本構想・基本計画を策定しました。令和6年度から令和8年度にかけて設計・工事を進め、令和9年4月の供用開始を目指します。	1,155万円

(2) 産業・雇用

事業名	事業概要	事業費
阿多田かき殻一時堆積場修築事業	阿多田島に設置している、かき殻一時堆積場の網の張替えおよびかき殻の流出を防ぐための方塊ブロックを設置する修築工事を実施しました。	1,765万円
産業振興奨励事業	産業の振興のため、新たに設備投資などを行った(大企業:増加課税標準額:5億円以上、中小企業:増加課税標準額:5千万円以上)事業者に対し「産業振興奨励金」を交付しました。	1,152万円

(3) 生活・環境

事業名	事業概要	事業費
小方地区のまちづくり事業	「小方地区のまちづくり基本構想」の実現に向けて、鉄道事業者と新駅設置に関する協議を行うにあたり必要な資料を作成するとともに、小方小・中学校跡地活用やJR小方新駅設置の検討に必要な測量を実施し、小方新駅電気設備概略検討業務に着手しました。	2,565万円
大竹駅周辺整備事業	大竹市の玄関口であるJR大竹駅へのアクセスや駅周辺の回遊性の向上を図るため、駅の橋上化、東西地区を結ぶ自由通路の整備、東西広場の改良・整備を一体的に進めています。令和5年度は、旧駅舎・跨線橋などの解体工事を実施したほか、東口交通広場を整備し、東口ロータリーを令和6年1月に供用開始しました。また、西口広場に隣接する市道の道路拡幅・無電柱化工事を令和4年度に引き続いて実施するとともに、東口交通広場駐車場整備工事、西口広場整備工事に着手しました。	8億4,141万円